

- 毎月の検査室だよりはHPにも掲載しています。http://www.palcoop.or.jp/au_ji/anzen_kensashitsu.html
- 放射能検査の取り組みは http://www.palcoop.or.jp/radioactiv_lab/index.html



商品検査室だより

5月度

液体の商品の
 内容量の表示について



お申し出

商品によって内容量の表示（リットル・ミリリットル）がちがうのはなぜ？

検査室からの回答

液状食品の内容量（体積）を表す「ℓ（リットル）」と「ml（ミリリットル）」の単位。表す意味は同じですが、商品の種類によって使い分けられています。その由来は、商品が最初に製造された時の単位の名残と考えられています。例えば、牛乳は牛乳瓶の内容量が200mlだったことから、その流れを受け

て、500ml、1000mlと「ml」が使われてきました。また、みりんや料理酒などは、一升瓶（1.8ℓ）で製造されていたことから「ℓ」が使われてきたと考えられています。

また計量法では、加工食品の内容量は重量（kg・g）、体積（ℓ・ml）のどちらの単位で表示してもよいことになっています。どちらで表示するかは製造・販売元が決めますが、容器に詰める中身を重量で量っている商品はkg・g、体積で測っている商品はℓ・mlで表示されるのが一般的のようです。



〈5月度検査状況(16.4.21~16.5.20)〉 【商品検査のとりくみ】 商品検査数 1415件（前年同月1382件）

| 検査の種類 | 検査件数 | 注意品 | 内容と結果 |
|---------|------|-----|--|
| 微生物検査 | 927 | 9 | 注意品については再検査、継続調査を実施しましたが、商品回収・人体危害にかかわる不適合はありませんでした。 |
| 残留農薬検査 | 64 | なし | 問題ありませんでした。 |
| 理化学検査 | 251 | なし | 問題ありませんでした。 |
| 残留放射能検査 | 57 | なし | 生鮮・一般食品を検査し、全て検出はありませんでした（検出限界値は各20ベクレル/kg）。 |
| その他* | 116 | なし | 問題ありませんでした。 |

【商品の相談受付状況】 297件（前年同月304件）

※その他…店舗・福祉施設の設備の衛生検査など

人体危害（腹痛下痢、スキントラブルなど）での、複数発生商品ははありませんでした。

組合員さんの声にこたえて

パルコップでは、組合員のみなさんから寄せられた声を、商品や運用の改善にいかすと取り組んでいます。ホームページでもご覧ください。
<http://www.palcoop.or.jp/blog/koe/>

「牛丼の具」が80gで登場

「牛丼の具」150gは多いので、半分くらいの量の物を出してほしい。

声



【回答】 昨年5月デビューの「牛丼の具」は、たくさんの方から、いろいろな声をいただいております。今年3月の“大盛185g”に続き、5月からは“ミニ80g”が登場しております。ちょっとだけ食べたい、おかずのプラス一品などにぜひご利用ください。（商品部 冷凍食品担当）

牛丼の具（ミニ） 冷凍 80g × 3

7月2回

本体598円(税込646円)



鶴見支所 配送担当
 磯野さん

組合員様に電話で以前声を上げていただいた事と今回企画された旨をお伝えしたところ、「あまり量を食べないので、少ない量の企画をしてほしくて声を上げました。以前の量の半分くらいだとちょうど良いですね。またカタログで見かけたら注文しておきます」とおっしゃっていただきました。